

1 七戸町長期総合計画に関するアンケート調査結果

(1) 調査時期

2024(令和6)年8月～9月

(2) 調査方法

- 調査対象 住民基本台帳より無作為抽出した18歳以上の七戸町民 1,600人
- 配布と回収 役場より郵送配布、郵送により回収

(3) 回収状況

配布件数	回収件数	回収率
1,600件	588件	36.8%

(4) 設問の構成

設問は、回答者の属性(性別、年齢、家族構成、職業)のほか、①都市基盤、②産業、③健康・福祉、④生活環境、⑤教育文化、⑥連携・交流、⑦住民と行財政7分野に沿った34項目について、現状への満足度、課題の大切さ(重要度)を尋ね、5段階評価により回答を得ました。

さらに、平成27年度調査結果との比較を行いました。

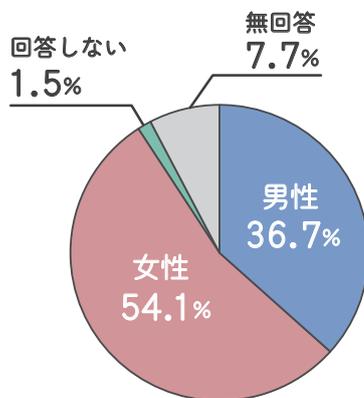
※アンケート票は参考資料に収録。

問1 回答者の属性

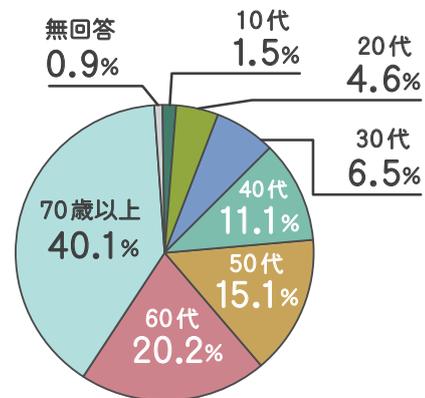
回答者の男女比は男性よりも女性が多く、年齢は60代以降が半数以上を占めています。

また、家族構成は親と子の2世代以上が約半数を占めています。職業は、勤め人、農業、商店等自営業が約半数を占め、無職・専業主婦が約4割でした。

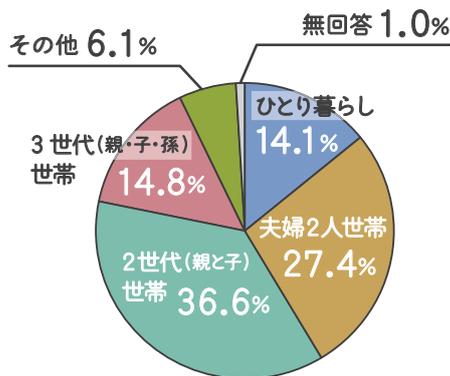
問1-(1) 性別



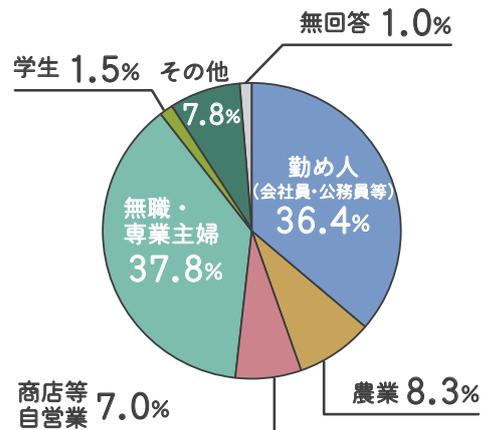
問1-(2) 年齢



問1-(3) 家族構成



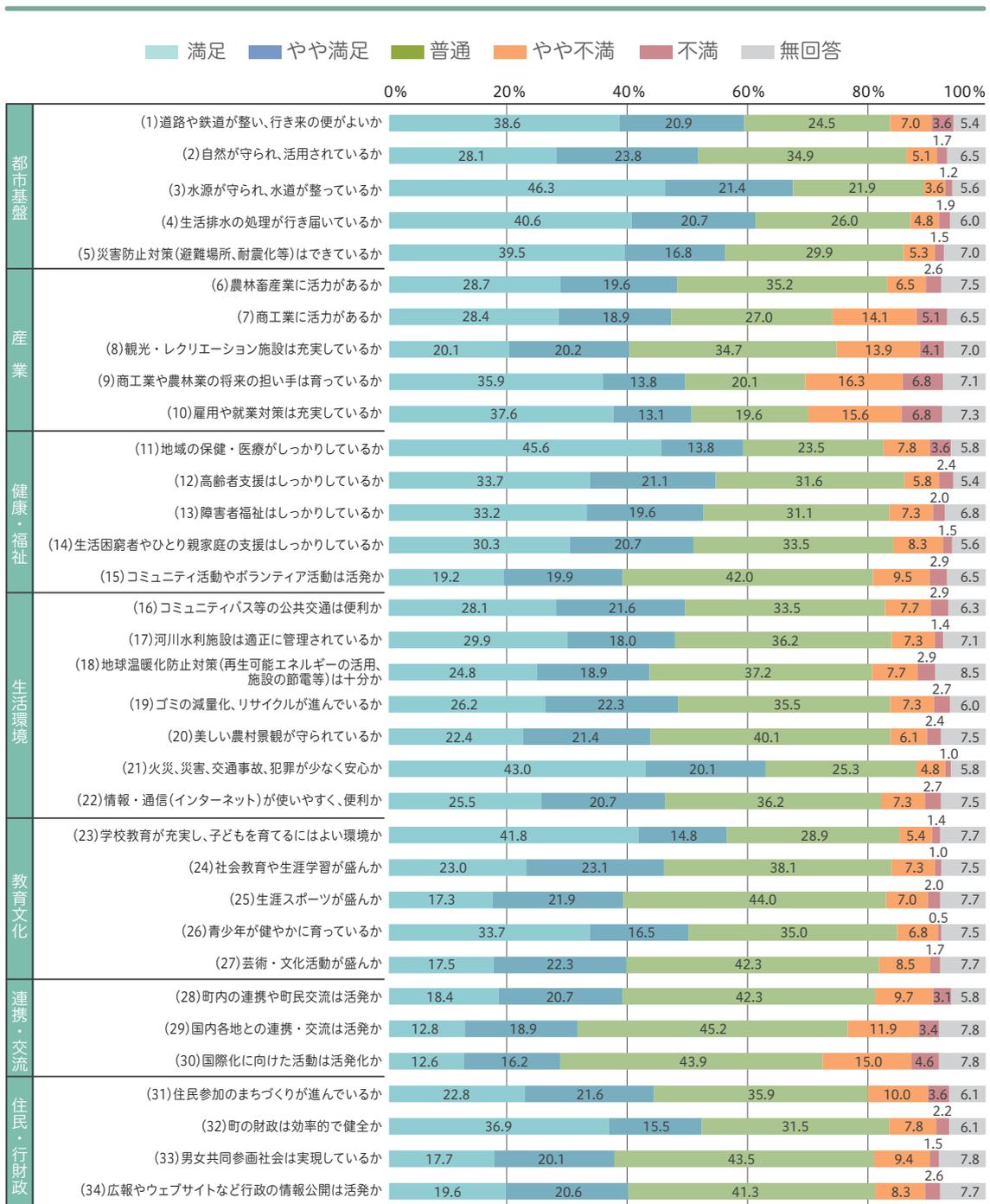
問1-(4) 職業



(5) 町の現状への「満足度」比較

7つの分野、34項目で現状の満足度を聞いたところ、「都市基盤」、「健康・福祉」分野の満足度が高く、「連携・交流」分野の満足度は低い結果が出ました。

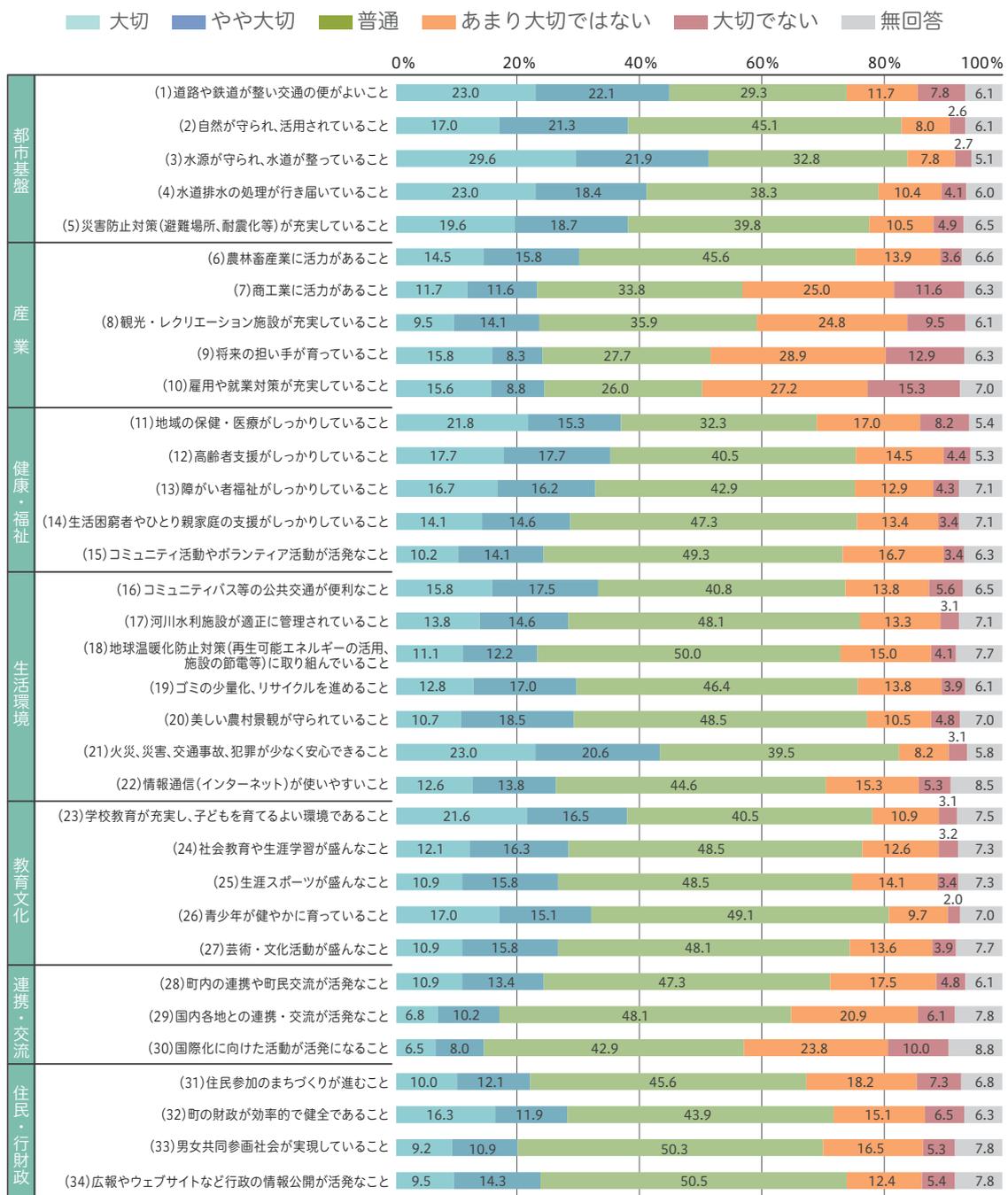
問2 町の現状への「満足度」について



(6) 町の現状への「重要度」比較

7つの分野、34項目で現状の大切さ・重要度を聞いたところ、「都市基盤」、「生活環境」、「教育・文化」分野を重要と答えた割合が多い結果となりました。

問3 暮らしの中での「大切さ・重要性」について



Ⅰ 序論

Ⅱ 基本構想

Ⅲ 前期基本計画

Ⅳ 参考資料

(7) 各項目の平均点比較

7つの分野、34項目の5段階評価の平均点を比較しました。平均点は「5」に近いほど高い評価を示しています。

満足度、重要度がともに高い項目は、町民が重要であると考えることが施策に反映され、評価されていると見ることができます。

満足度が低く、重要度が高い項目は、町民が重要視しているにも関わらず、不満の多い項目であり、対策を講じる必要があると見ることができます。

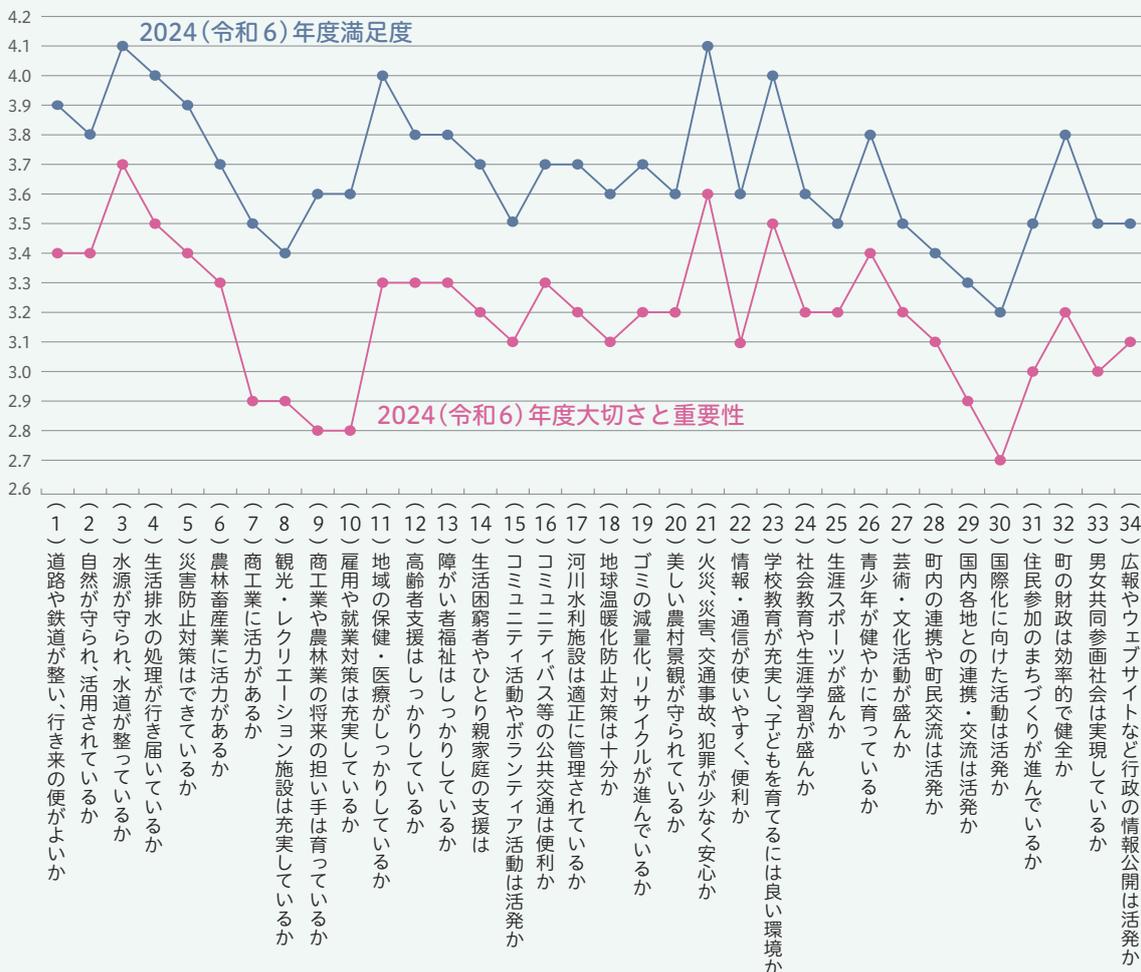
● 満足度

町民は、「水源が守られ、水道が整っている」、「生活排水の処理が行き届いている」、「地域の保健・医療がしっかりしている」、「火災、災害、交通事故、犯罪が少なく安心」、「学校教育が充実し、子どもを育てる良い環境である」ことには満足しています。

● 重要度

町民は、「水源が守られ、水道が整っている」、「火災、災害、交通事故、犯罪が少ない」、「学校教育が充実し、子どもを育てる良い環境である」ことが重要と捉えています。

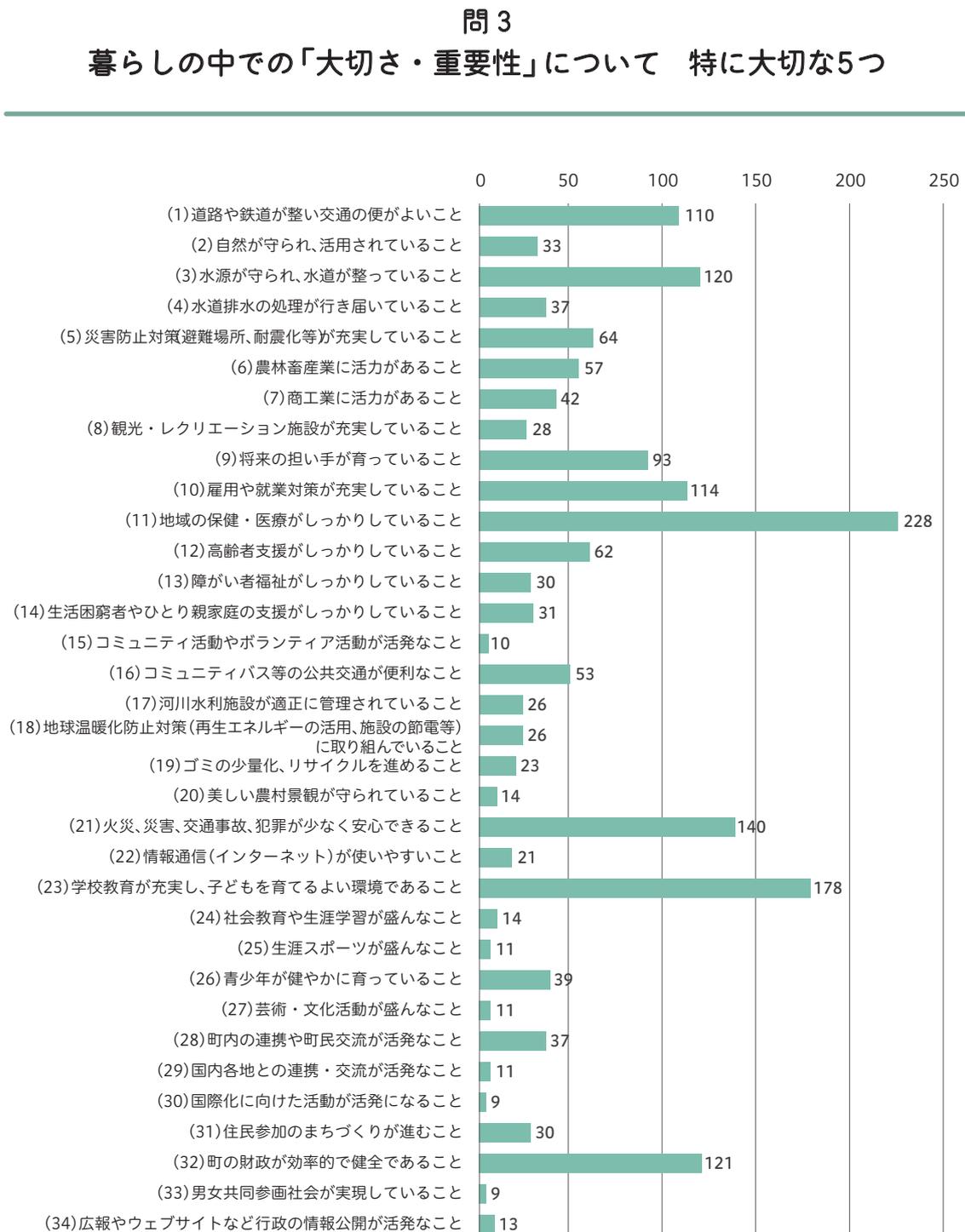
2024(令和6)年度 項目別満足度と重要度



(8) 各項目の中で特に大切な5つ

7つの分野、34項目の中で、特に大切であると思う5項目を選んでもらいました。

その結果、「地域の保健・医療がしっかりしていること」、「学校教育が充実し、子どもを育てるよい環境であること」、「火災、災害、交通事故、犯罪が少なく安心できること」が際立っていました。

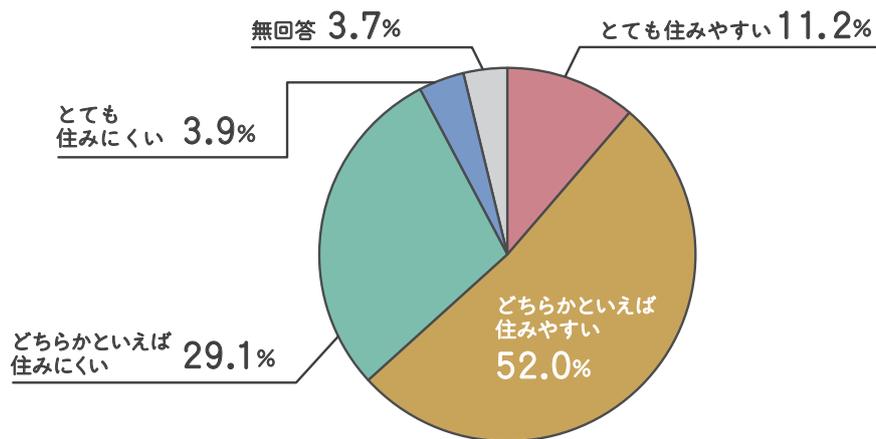


(9) 住みやすい七戸町について

七戸町は、住みやすいまちかを聞きました。

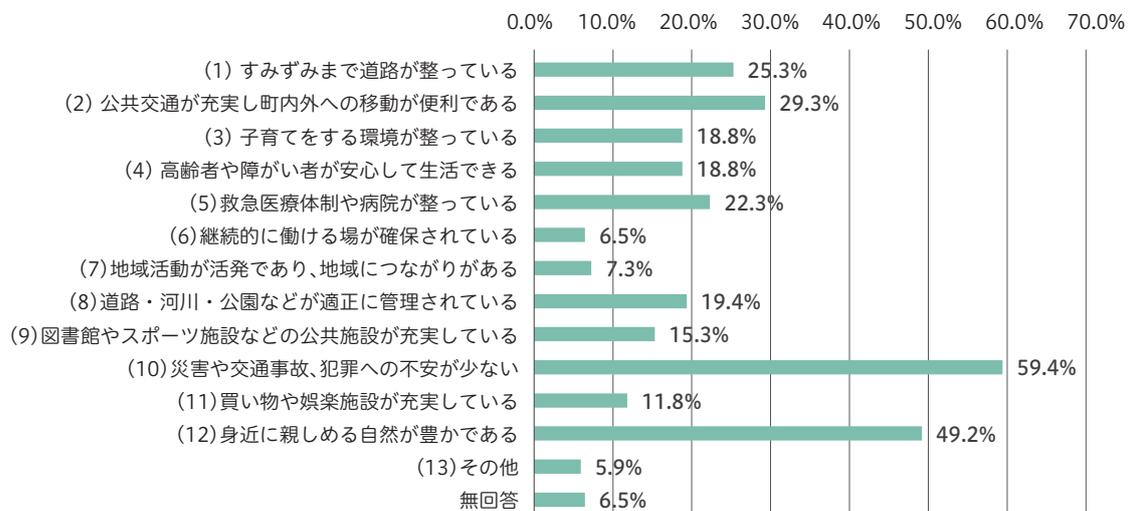
1割の人が「とても」、5割の人が「どちらかといえば」住みやすいと答えました。

問4
住みやすさについて



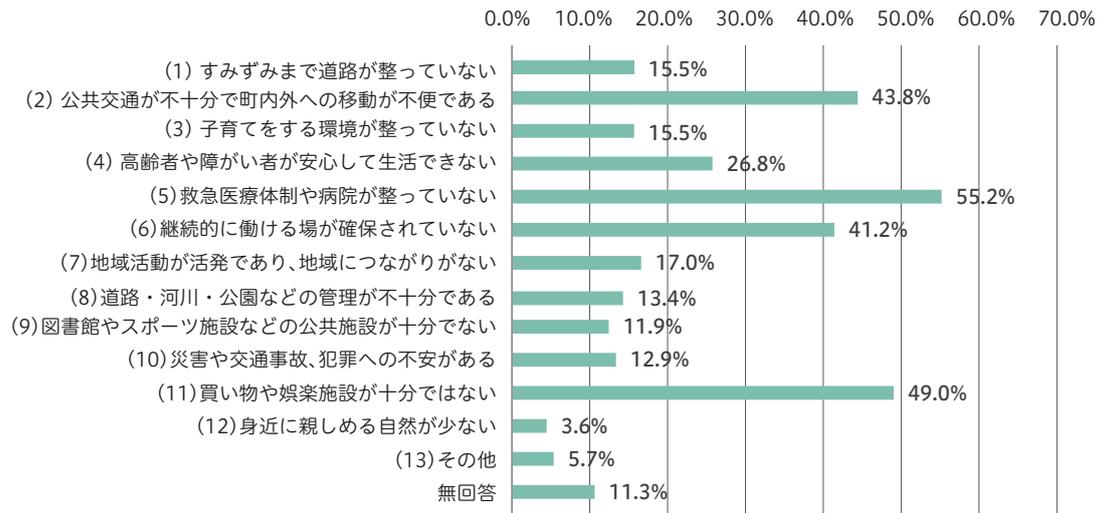
問5
住みやすい理由（複数回答）

七戸町が住みやすいと答えた人は、その主な理由として、「災害や交通事故、犯罪への不安が少ない」、「身近に親しめる自然が豊かである」からと答えています。



問6 住みにくい理由（複数回答）

七戸町が住みにくいと答えた人は、その主な理由として、「救急医療体制や病院が整っていない」、「買い物や娯楽施設が十分ではない」、「公共交通が不十分で町内外への移動が不便である」、「継続的に働ける場が確保されていない」からと答えています。



(10) 平成27年度調査との各項目の満足度の比較

2015（平成27）年度に実施した町民意識アンケートの結果と今回の結果を比較しました。満足度においては、全体的に上昇していました。その中でも「水源が守られ、水道が整っているか」は10年前と同水準に高く、「商工業に活力があるか」、「商工業や農林業の将来の担い手は育っているか」は大きく上昇しています。

※(10)、(33)、(34)は、2015（平成27）年度調査にはありませんでした。

